

Quarterly Journal of Seismology

Vol. XXVI

驗 震 時 報

第 26 卷

昭 和 37 年

氣 象 庁

Published by the Japan Meteorological Agency

Tokyo

1962

第 26 卷 総 目 次

第 1 号

矢崎敬三：発震時速報器の試作について……………	1
田中康裕：潮汐に誘発される火山性地震……………	7
鹿児島地方気象台：桜島火山活動予測の精度について……………	17
安井 豊・田辺剛：日向灘の外所地震津波調査について……………	33

第 2 号

大野讓・須賀盛典・南喜一郎：北海道周辺における地震活動域と地下構造—特に札幌の観測資料から……………	39
--	----

第 3 号

酒井乙彦：昭和 36 年 1 月 16 日 16 時 20 分ごろの茨城県沖地震と津波……………	61
新潟地方気象台・長岡通報所：長岡地震調査報告……………	65
日向灘地震調査報告……………	81

第 4 号

久本壮・一村山チエ子：チリ津波の伝搬波面を作図すること……………	109
阪井一雄・中島信之：福井県美濃俣地区大地すべり踏査報告……………	115
安井豊・山形英雄：南九州の地鳴りと震央距離との関係について……………	119
山野道雄：五島の火山と火山弾……………	125
勝又 護：最近の顕著な地震の表（1951年～1960年）……………	129

Vol XXVI Contents

No. 1

- K. Yazaki : Earthquake Occurrence Time Recorder 1
Y. Tanaka : Relation between Volcanic Earthquakes and Tidal Phases 7
Kagoshima L. M. O. : On the Accuracy of Forecasting for Volcanic
Activities 17
Y. Yasui and T. Tanabe : Investigation on Tsunami of the Tondokoro
Earthquake 33

No. 2

- Y. Ono, M. Suga and K. Minami : Investigations on the Crustal
Structure and Seismic Activity in and near Hokkaido
(Using the Data at Sapporo D. M. O.). 39

No. 3

- O. Sakai : The Ibaraki-oki Earthquake of Jan. 16, 1961 61
Niigata L. M. O. and Nagaoka Weather Message Station : The Naga-
oka Earthquake of Feb. 2, 1961 65
The Hyuganada Earthquake of Feb. 27, 1961 81

No. 4

- S. Hisamoto and C. Murayama : Drawing the Wave Fronts of the
Chilean Tsunami of May 23, 1960 109
K. Sakai and N. Nakajima : On the landslip at Minomata in Fukui
Prefecture 115
Y. Yasui and H. Yamagata : Investigation of the Rumbling of the
Earth in Southern Kyushu District 119
M. Yamano : On the Volcanos and Volcanic Bombs on Goto Island of
Nagasaki Pref. 125
M. Katsumata : List of Major Earthquakes in and near Japan, during
the Period from 1951 to 1960 129

「駿震時報」投稿上の注意事項

- (1) 報文は原稿用紙に横がきではっきりと書き、当用漢字新かなづかいを用いる。句読点・, は1字分あけ、数字はアラビア数字とする。記号 a と α と d , C と c , e と l と p , 0 と O と σ , r と γ , S と s , W と w , Z と z と 2 , などはまぎらわしいから特にはっきり書く。
- (2) 論文の長さは当分のあいだ付図を含めて刷上がり8ページ以内、ただし、付図は刷上がり合計3ページ以内とする。
- (3) 報文が論文の場合、その初めに欧文の題目および内容要約をつけ、図、写真および表の説明は欧文とする。報文が報告の場合は欧文の題目をつける。
- (4) 付図は濃いすみで、ていねいに描き、むだな余白のないようにする。図中の文字は縮めても、小さくなりすぎないよう大きめに書く。注や説明はわく外に活字にくめるようにする。
- (5) 写真は鮮明なもので、変色やよごれのないものにかぎる。
- (6) 欧文題目、内容要約および原稿中の欧文は活字体でわかりやすくかく。欧文題目、内容要約は、できればタイプライターで打つ。

昭和37年3月25日印刷

昭和37年3月31日発行

編集兼 気 象 庁
発行人

東京都千代田区大手町1ノ7

印刷人 田 中 春 美

東京都台東区東黒門町3

印刷所 田中幸和堂印刷株式会社

東京都台東区東黒門町3